

# 緑陰通信

News from the shade of trees

## 目次

- 「作家・中村地平」について語る文化講座〈講演・鼎談〉… P1
- 特別展「中村地平の足跡(あしあと)」…………… P1
- 企画展「牧水遺墨展」…………… P2
- デジタルアーカイブのご紹介…………… P2
- 秋の読書週間企画展示「読書県みやざきを支える本屋さん」… P3
- 電子書籍ランキング…………… P3
- 緑陰コンサート～金管8重奏の生演奏コンサート～… P4

※緑陰通信は県立図書館のホームページ (<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>) からご覧いただけます。

## 開催レポート

## 「作家・中村地平」について語る文化講座〈講演・鼎談〉



左から鼎談者の小松・岡林・河原の三氏

と、昨春公開されたドキュメンタリー映画『中村地平』を脚本・監督した小松孝英氏（本県出身のアーティスト）の3人による「作家・中村地平」と題した鼎談を行いました。

会場の参加者からは、講演や鼎談の内容を踏まえ、地平が提唱した南方文学の位置づけに関する質問や、映画制作や台湾文学を研究する上での苦労話に関する質問などがあり、鼎談者3人のお話によって参加者には作家・中村地平に関する知見をさらに深めてもらったのではないかと思います。

なお、講演の内容と鼎談でのやり取りは、前者は河原氏が改めて論文化したもの、後者は鼎談内容を録音した音声を筆耕したものととして、本館の『宮崎県文化講座研究紀要』第51輯（2025.3.31発行予定）に掲載しますので、そちらもどうぞ御覧ください。

今年度の文化講座は、小説「南方郵信」、「八年間」などの作品が芥川賞候補に3度ノミネートされ、戦後、宮崎県で地方文化の興隆や人材の育成などにも貢献した、郷土出身の作家・中村地平（1908～1963）に焦点を当て、10月6日（日）午前には講演会、同日午後には鼎談会を開催しました。

午前には、台湾文学研究家の河原功氏（一般財団法人台湾協会評議員）をお招きし、「中村地平と台湾」と題して、地平の生涯を辿りながら旧制・台北高校時代の活躍ぶりやそれ以後の台湾を舞台にした文学作品等について詳しく講演していただきました。

また、午後には講演した河原氏に加え、宮崎で長年にわたり中村地平について研究を続けている岡林稔氏（宮崎大学名誉教授）



講演会場の様子（当館 研修ホールにて）

## 特別展 「中村地平の足跡(あしあと)」

期間：令和6年9月21日(土)～11月24日(日)



特別展示室の様子

昨春、ドキュメンタリー映画『中村地平』の公開に合わせ、作家・中村地平に関する展示会を期間限定で開催しました。今回は、その展示会で展示していなかった直筆の原稿や妻宛ての書簡、地平の文学作品を初掲出した雑誌等の新資料を加え約2か月間の特別展として開催しました。

妻・玲子に宛てた書簡からは、小林町（現小林市）へ再疎開した妻子の健康を気遣いながらも、空襲が激しさを増す宮崎市に留まり戦火の中を生き抜こうとする地平の強い意思も見受けられました。また、戦後の新聞では、政治に対する思いだけでなく、日向民話の評価や若手の地方作家へのアドバイスを伝える記事・

エッセイ等を地元・宮崎から発信しており、作家としてだけでなく、地方文化の発展や人材の育成にも尽くそうとしていた文化人としての側面も紹介することができました。

郷土出身の作家・中村地平への関心が、彼の文学作品と併せて今後さらに若い世代にも高まることを期待しています。



## 企画展「牧水遺墨展」

期間：令和6年12月7日(土)～令和7年1月26日(日)



展示室内の様子

県立図書館では、小林邦雄コレクションの若山牧水直筆原本（遺墨）30点をホームページ上で公開していることと、令和7年は若山牧水の生誕140年を迎えることから、県民の方々にこのことを知っていただくために企画展を開催しました。

企画展では、コレクションの来歴やデジタル化についてパネルで説明しました。また、牧水直筆原本については季節感を重視し、開催期間に合わせて「晩秋から冬」「冬から早春」の歌から7点ずつ選び、伊藤一彦名誉館長による解説を付けて展示しました。

にも、歌集や歌論、関連書、詠み込まれた対象物（風景、動植物、事物）に関する資料（絵ハガキ）などを展示することで、牧水の作歌に至る背景を深く掘り下げ、その結果として生み出された歌を直筆原本で紹介する形にしました。

開催期間中、観覧者のアンケートでは、デジタル化について、いつでもどこでも鑑賞できるなど、様々な意見が寄せられました。

令和7年は、若山牧水の生誕140年にあたり、県立図書館では、牧水に関する様々な企画を計画していますので、ご期待ください。

実物の歌と解説以外



展示された牧水遺墨



## デジタルアーカイブのご紹介

当館所蔵の宮崎に関する貴重な資料の一部をデジタル化し、誰でも自由に閲覧できるようにホームページにて「デジタルアーカイブ」として公開しています。公開した資料画像は、デジタルアーカイブにアクセスすれば、いつでもどこでも見ることができます。

### 若山牧水の直筆の掛け軸・色紙・短冊など



平成30年に寄贈を受けた小林邦雄コレクションの中から、本県出身の歌人、若山牧水の掛け軸や色紙、短冊などの直筆原本30点をデジタル化し、令和6年3月から公開しています。

今後も郷土資料のデジタル化を予定しています。

### 『宮崎県史』デジタルアーカイブの公開をはじめます



※開発中の画面です

『宮崎県史』は、先人から受け継がれた県の長い歴史や豊かな文化について詳しくまとめられた貴重な郷土資料です。宮崎県の置県百年記念事業をきっかけに昭和59年度（1984年度）から編さんがスタートし、様々な調査と資料をもとに長い年月をかけて作られました。

県立図書館では、全31巻32冊のうち、県の歴史・文化の魅力に富み、みなさまの学びや研究にも

適した11冊（通史編、資料編及び別編）をデジタルアーカイブにしました。

令和7年3月中旬にインターネットで一般公開できるように準備を進めており、公開後は県立図書館ホームページからアクセスできる予定です。どうぞご期待ください。



魅力たっぷりの書店を訪ねてみませんか？

## 秋の読書週間企画展示 「読書県みやざきを支える本屋さん」

期間：令和6年10月16日(水)～11月4日(月/振替休日)



今回の「秋の読書週間」の展示では、書店にスポットを当て、書店をテーマにした書籍や絵本、昭和時代の書店の写真などを展示しました。展示の目玉は、「書店の紹介」ポスターです。情報提供にご協力いただいた県内13店の書店の歴史や、店長の「私を変えた一冊」などを紹介しました。展示をご覧になった方からは、「子どもの頃に利用していた書店が残っていて嬉しかった。」「これまで足を運んでいなかった書店に行ってみたくと思いました。」などの感想をいただきました。



また、参加型の展示として「本屋さんでのエピソード」を募集。「本屋さんに入ると、色鮮やかな表紙に圧倒され、ワクワクした気持ちになります。」「本屋さんで買う本を選ぶ時、子どもの目はキラキラしています。」などのエピソードが集まりました。期間中は2つのイベントも開催。ワークショップ「本友のススメ」では、オススメの本を持ち寄って紹介し合い、「本を通じて皆さんと話すうちに仲良くなり、とても楽しかったです。」などの感想をいただきました。ギャラリートーク「おしえて！本屋さん」では、県内の書店にご協力いただき、書店員になった理由をお話しいただいたり、観覧者からの質問に答えていただいたりしました。参加された方からは「頑張っている本屋さんの生の声を聞くことができ、とても良い時間でした。」「書店の取組や努力が分かり、応援したくなりました。」などの感想をいただきました。県内の書店を、より身近に感じることができたのではないのでしょうか。これを機に、ぜひお近くの本屋さんに足を運んでみてくださいね。



## 電子書籍ランキング (8/30～12/31)

当館の電子書籍サービスでよく利用されている本のランキングです。

図書館に気軽に来ることができない方でも読書を楽しめる便利なサービスですので、ぜひご利用ください。

### LibrariE 閲覧数ランキング

順位	資料名	著者	出版社	出版年月	閲覧数	
1	どっちが強い!?X6 人食いの森でサバイバル	エアチーム/まんが スペンサー倫亜/訳	小林快次/監修 レッドコード/ストーリー	KADOKAWA	2021.3	983
2	うみのおぼけずかん	斉藤 洋/作	宮本えつよし/絵	講談社	2013.6	738
3	どっちが強い!?X12 恐竜キッドをたおせ!	エアチーム/まんが スペンサー倫亜/訳	小林快次/監修 レッドコード/ストーリー	KADOKAWA	2022.7	696
4	わらいのひみつ	おおのこうへい/作・絵	雨宮俊彦/監修	フレーベル館	2021.3	588
5	おさるのまいにち	いとうひろし/作・絵		講談社	2017.9	531

### LibrariE 貸出数ランキング

順位	資料名	著者	出版社	出版年月	貸出数
1	若山牧水ものがたり	楠木しげお/文 山中冬児/絵	銀の鈴社	2007.4	33
2	めん文字で楽しむ今日は何の日? —調べ学習、学級新聞、自由研究、 校内放送のヒントがいっぱい— 123月 電子書籍版	「今日は何の日?」編集委員会/編著 赤木かん子/監修	誠文堂新光社	2023.9	30
3	スープとあめだま	ブレイディみかこ/作 中田いくみ/絵	岩崎書店	2022.2	29
4	食べもののひみつ1すがたをかえる大豆	「食べもののひみつ」編集室/編	理論社	2022.10	28
5	もったいないばあさんがくるよ!	真珠まりこ/作・絵	講談社	2005.11	27

### KinoDen 閲覧数ランキング

順位	資料名	著者	出版社	出版年月	閲覧数
1	まっふる 宮崎 '24	—	昭文社	2023.5	469
2	きみのお金は誰のため	田内 学/著	東洋経済新報社	2023.10	321
3	武器としての図で考える習慣	平井孝志/著	東洋経済新報社	2020.7	192
4	るるぶ宮崎 高千穂 '25	JTBパブリッシング/著	JTBパブリッシング	2023.12	157
5	ふるさとの思い出写真集 明治大正昭和 宮崎	野口逸三郎 富永嘉久/編	国書刊行会	1986.4	153

※LibrariEの貸出数ランキングには読み放題パックの利用状況は含まれていない。 ※KinoDenは利用形態が閲覧型のため閲覧数ランキングのみ掲載。

## 緑陰コンサート～金管8重奏の生演奏コンサート～

県立図書館では、県民の皆様が様々な音楽に親しみ多様な文化に触れる機会となるよう、年に2回「緑陰コンサート」を実施しています。そのうち、第2回を11月4日（月／振替休日）に実施し、金管8重奏で編成された団体「Brass Ensemble Ricco」を招いての演奏会と県立図書館職員による読み聞かせを行いました。

第1部では、「月の旅人」、NHKドラマ『氷壁』の主題歌「彼方の光」等を演奏していただきました。「となりのトトロメドレー」や「めざせポケモンマスター」の演奏もあり、子どもたちと一緒に保護者の方も口ずさんだり体を揺らしたりしながら楽しんでいる様子が印象的でした。イギリス民謡「ピクニック」の演奏後は、曲中に登場した謎の楽器クイズで（正解はおもちゃのラッパ）会場は大盛り上がりでした。

第2部では、県立図書館の司書による読み聞かせを行いました。手遊び歌を交えながら秋にちなんだ「ねずみのいもほり」のほか3冊の絵本の読み聞かせをしました。絵本をじっと見つめ物語の世界にどっぷりと浸る子、「わあ！」など声を出したり手をたたいたりしながら物語を楽しむ子、保護者の方の膝の上で気持ちよさそうにお話を聞いている子など、子どもたちは絵本を様々な楽しんでいました。



第3部の中では、工夫を凝らした楽器紹介を行っていただきました。ホルンの紹介では、グルグル巻になっているところを伸ばすと4mにもなることや世界で一番難しい金管楽器としてギネスに登録されていること等を聞き、会場からは驚きの声があがっていました。

心地よい風と木漏れ日に包まれながら、緑陰の中で心ゆくまで演奏や絵本を楽しんでいただきました。「非常に素晴らしいプログラムと演奏だった」「優しい音色で癒やされた」と、参加者からは嬉しいお声を多くいただき、大盛況のうちに無事に終えることができました。



県立図書館の資料の購入には、宝くじの収益金の一部が使われています。  
宮崎県



宮崎県立図書館公式SNS



Facebook



Instagram

### ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室：9:00～19:00  
■児童図書室：9:00～17:00  
休館日 ■毎週月曜日（祝日の場合翌日）

### 編集・発行

#### ●宮崎県立図書館

所在地 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1  
TEL ■0985-29-2911（総務・企画課）  
FAX ■0985-29-2491（総務・企画課）  
HPアドレス ■<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>



ホームページ